

テサロニケ

第二

③

よるこんで はたらこう

テサロニケ人への手紙第二 3章 奨励・最後の挨拶

アウトライン

0. イントロダクション

I. 主の守りの内に 3:1~6

II. 信仰と労働 3:7~18

III. まとめと適用

よろこんで

はたらこう



テサロニケへの手紙第一とは？

- 著者 …使徒パウロ(書記テモテ)
- 宛先 …テサロニケ教会
- 執筆時期・場所
…コリント(最初の滞在中)
第一の手紙数ヶ月後?!
- おもな目的 …終末論補講第二弾!!
「主の日は来た？」
➡誤解を解く





I. 主の守りの内に 3:1~6

願い 祈りの要請 II テサ3:1

最後に兄弟たち、私たちのために祈ってください。主のことばが、あなたがたのところと同じように*速やかに広まり、尊ばれるように。

*短期間に大きな成果を収めたテサロニケ

■滞在中のコリントでは、成果を収めつつも大変な混乱が生じていた。



要請 教会の戦い II テサ3:2

また、私たちが、ひねくれた悪人ども*から救い出されるように祈ってください。すべての人に信仰があるわけではない*からです。

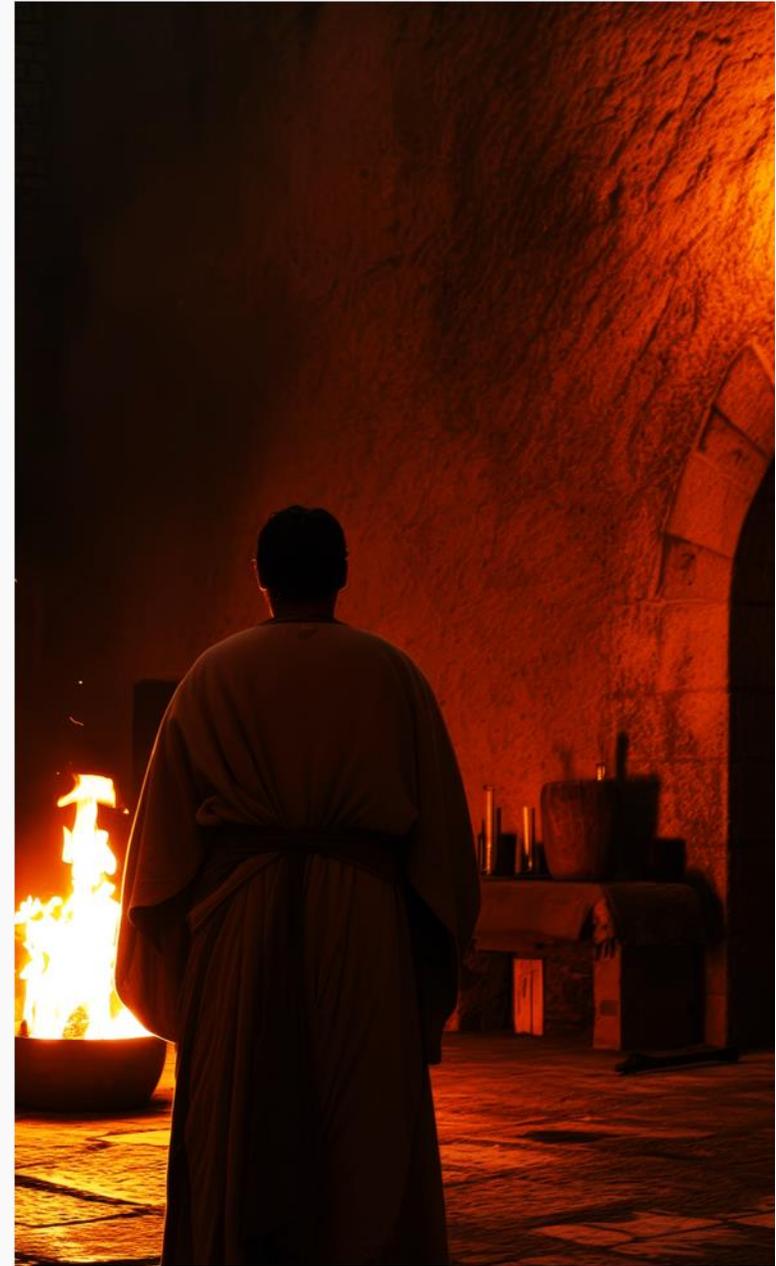
*“悪いに悪い”

クリスチャンに見せかけた偽善者

➔コリントにおける最も深刻な脅威

*地域教会には、偽の信者も紛れている

■ 「パリサイ人のパン種、すなわち偽善には気をつけなさい。ルカ12:1」



奨励 真実な方 II テサ3:3~4

しかし、主は真実な方*です。あなたがたを強くし、悪い者から守ってくださいます。

私たちが命じることを、あなたがたは実行していますし、これからも実行してくれると、私たちは主にあって確信しています。

*公正な裁きを下す、義なる方

➔ 信仰者は神の義のゆえに守られる

■ 霊的戦いの勝利の秘訣は、

主イエスと使徒たちの教えに従うこと。

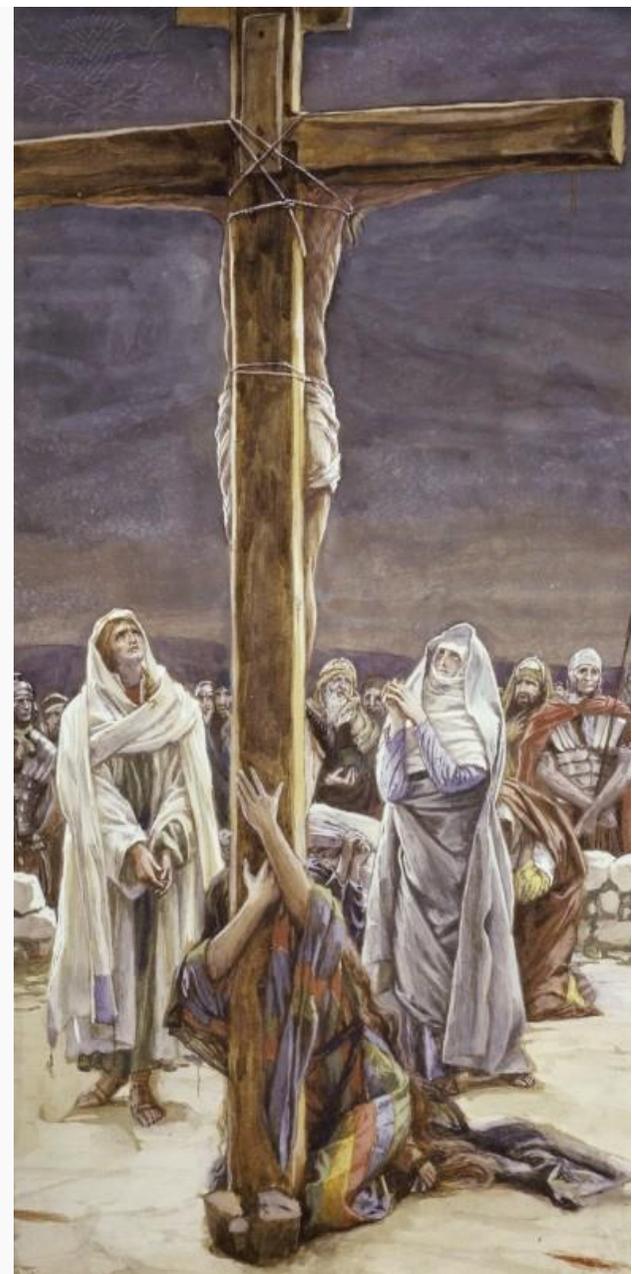


祈り 主の愛と忍耐 II テサ3:5~6

主があなたがたの心を導いて、神の愛とキリストの忍耐*に向けさせていただきますように。

*主の愛と忍耐の核心が、福音の出来事

■神の子、主イエス・キリストは、私の罪のため、十字架で死なれ、葬られ、復活された。





Ⅱ. 信仰と労働 3:7~18

警告 怠惰で不従順な者 II テサ3:6

兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって命じます。怠惰な歩みをして、私たちから受け継いだ教えに従わない兄弟*は、みな避けなさい。

*主イエスの名による極めて強い警告

➔主イエスは何度も“偽善”について警告

*行いが伴わない信仰の“偽善者たち”

教えに従う➔具体的な行動を伴う

■「怠惰」は、偽善者の特徴の一つ

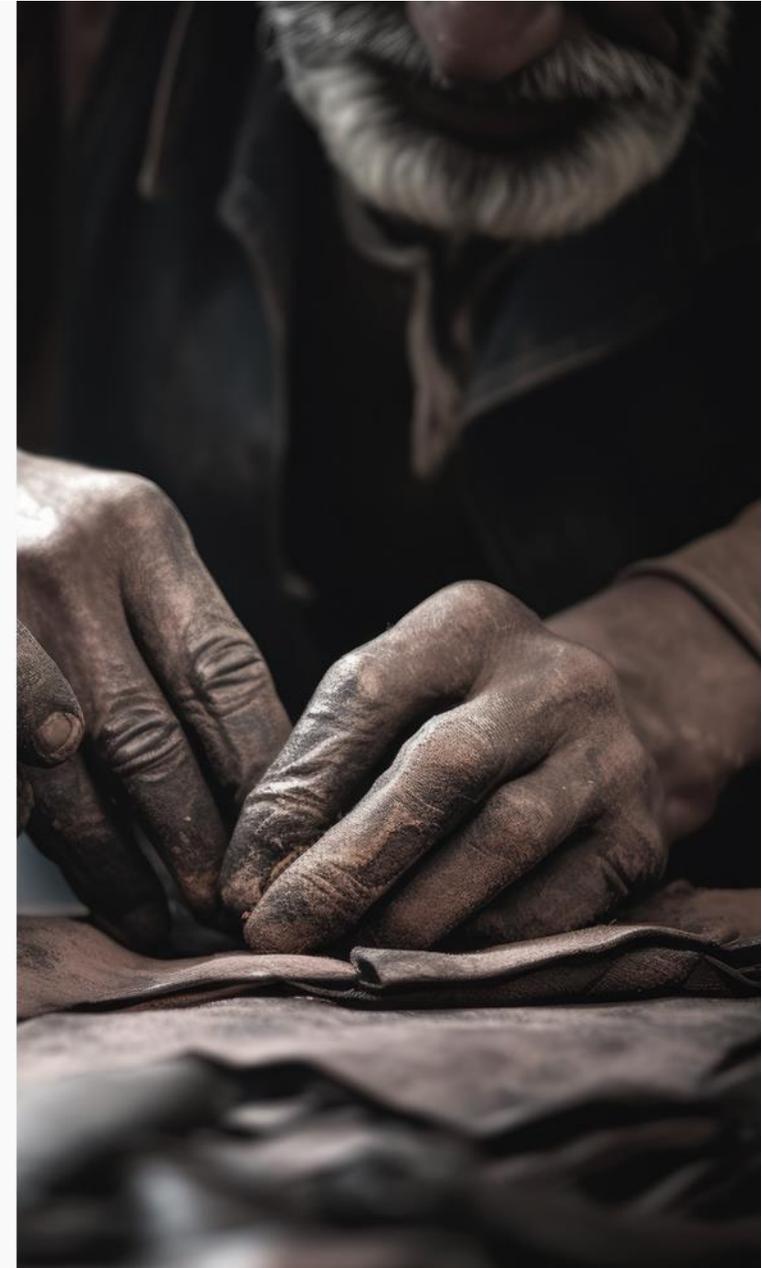


奨励 模範たる使徒たちの働き II テサ3:7

どのように私たちを見習うべきか、あなたがた自身が知っているのです。あなたがたの間で、私たちは怠惰に暮らすことはなく、人からただでもらったパンを食べることもしませんでした。むしろ、あなたがたのだれにも負担をかけないように、夜昼、勞し苦しみながら働きました。

■ 新しい伝道地では、自給伝道にこだわった。

➔ 信仰の幼子に負担をかけないように



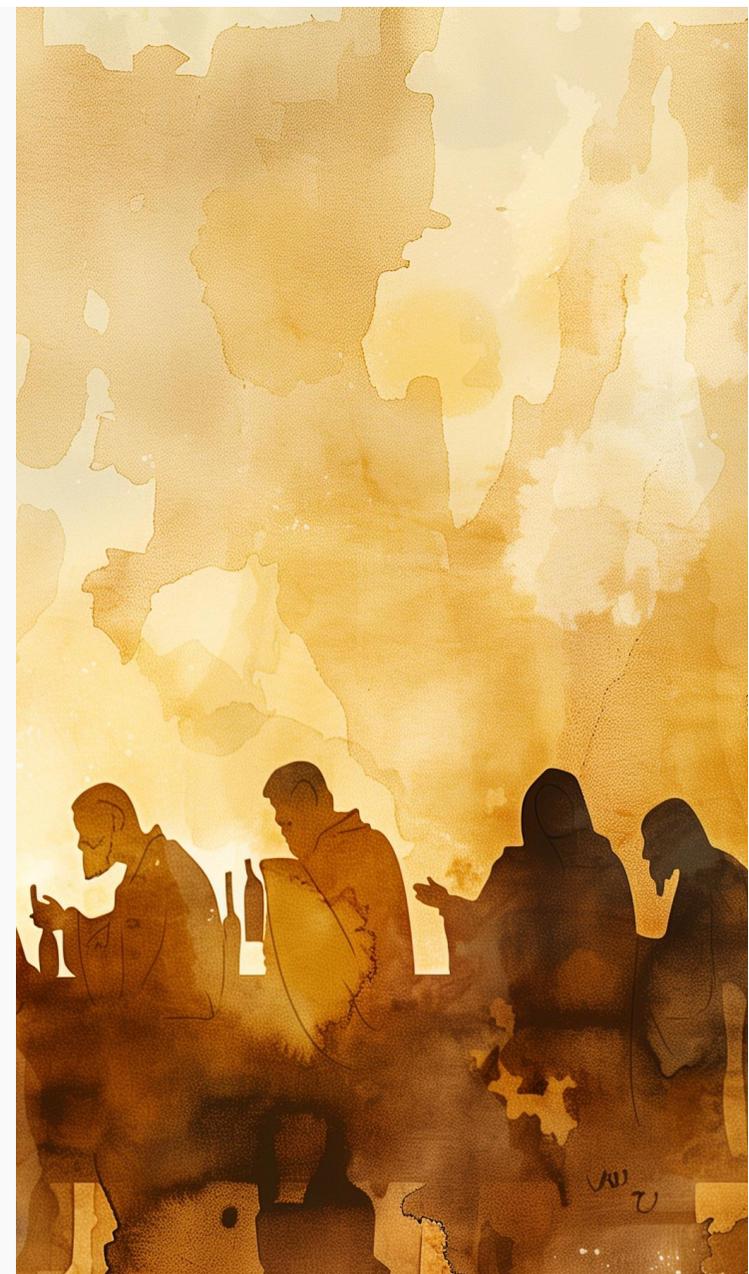
奨励 使徒たちの模範 Ⅱテサ3:9

私たちに権利がなかったからではなく、あなたがたが私たちを見習うように、身をもって模範を示すためでした。

- 教師の当然の権利を放棄(Ⅰコリ9:9)
- コリント伝道においては、テサロニケ含めマケドニアの信者たちが経済的に支援。

「Ⅱコリ 11:8 私は他の諸教会から奪い取って、あなたがたに仕えるための給料を得たのです」

➡奉仕は、奉仕によって支えられる



奨励 労働のススメ II テサ3:10~11

あなたがたのところにいたとき、働きたくない者は食べるな、と私たちは命じました。ところが、あなたがたの中には、怠惰な歩みをしている人たち、何も仕事をせずにおせっかいばかり焼いている人たちがいると聞いています。

そのような人たちに、**主イエス・キリストによって命じ、勧めます**。落ち着いて仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。

■主イエスも、使徒たちも労働されていた

➔よい奉仕者は、よい労働者



奨励 最後の勧告 II テサ3:13~14

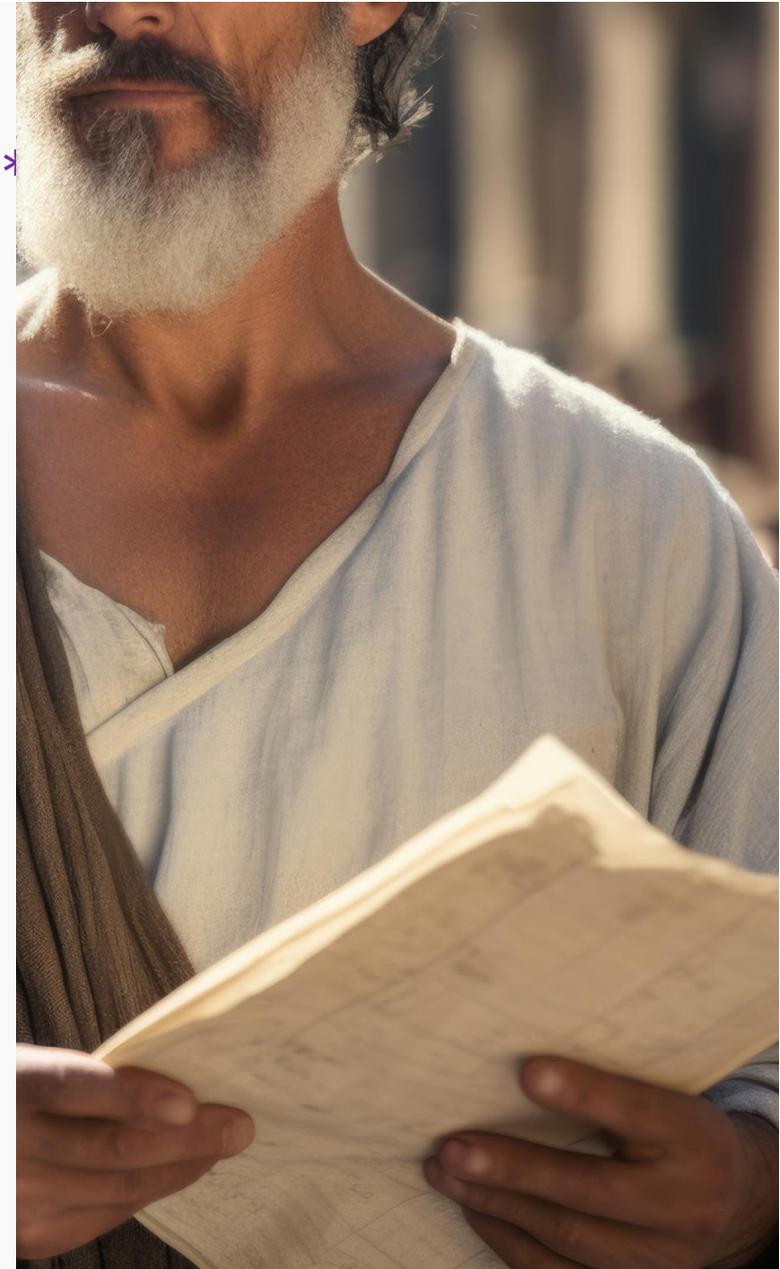
兄弟たち、あなたがたは、たゆまず良い働きをなさい。

もし、この手紙に書いた私たちのことばに従わない者がいれば、そのような人には注意を払い、交際しないようにしなさい。その人が恥じ入るようになるためです。

*よい労働の上に、よい奉仕もある

*恥とする ➡手放す、捨て去る

“不信仰を捨て去り、立ち返るために”



奨励 主の平和を II テサ3:15~16

しかし、敵とは見なさないで、兄弟として諭しなさい*。

どうか、平和*の主ご自身が、どんな時にも、どんな場合にも、あなたがたに平和*を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてとともにいてくださいますように。

*誰が不信仰者かなど人の目には分からない。

➔主にある兄弟として接するのが原則

*神の怒りから救われた者の「神との平和」



挨拶 パウロの挨拶 II テサ3:17~18

私パウロが自分の手で*あいさつを記します。
これは、私のどの手紙にもあるしるし*です。
このように私は書くのです。

私たちの主イエス・キリストの恵み*が、
あなたがたすべてとともにありますように。

*パウロの手紙の基本は口述筆記。

自筆で書いた挨拶が著者パウロのサイン

*主の約束に基づく恵みの究極が、

メシアによる贖い、救い →さらに再臨へ!!





Ⅲ. まとめと適用

よろこんで はたらこう

テサロニケ第二の締め

- 終末論について教えてきた締めが、“働け!!”
- 「ひねくれた悪者(=偽善者)」こそ、最も警戒すべき存在
→ 偽善者の特徴の一つが、**怠惰**
- 口先ばかり達者、言い訳は上手、反論は即出てくるが、自ら積極的に働こうとはしないのが、偽善者。

終末を言い訳にした怠惰などありえない!!

よき信仰者は、よき労働者

■ 主イエスは大工、ペテロは漁師、パウロは天幕職人…。

アブラハム、ダビデは羊飼ひ、アダムは耕す人…。

→ 信仰者に求められるのは、よい働き手であること

■ 主への奉仕も礼拝も、労働

→ 真面目に働かない者が、よい奉仕者であることはない

→ 喜んで働いていない者は、喜んで礼拝もできない

私は、肉的にも靈的にも、よき働き手となっているか？

主イエスが記念された“労働”

■主イエスへの香油注ぎ マタイ福音書26:10,12

「なぜこの人を困らせるのですか。わたしに“良いことをしてくれました。”…この人はこの香油をわたしのからだに注いで、わたしを埋葬する備えをしてくれたのです。」

“エルガゾマイ(=仕事、労働)”

最も尊い“労働”

■ヨハネ福音書6:27

「なくなってしまう食べ物のためではなく、いつまでもなくなる
ならない、永遠のいのちに至る食べ物のために働きなさい*。
それは、人の子が与える食べ物です。この人の子に、神で
ある父が証印を押されたのです。」

*エルガゾマイ(=仕事、労働)

今は、働くべき時

■ヨハネ福音書9:4

「わたしたちは、わたしを遣わされた方のわざを、**昼**のうちに行わなければなりません。だれも**働くことができない**夜が来ます」

■テサロニケ第一5:8

「しかし、私たちは**昼**の者なので、信仰と愛の胸当てを着け、救いの望みというかぶとをかぶり、身を慎んでいきましょう。」

世の終わりが来るまでが、私たちの働くべき時!!

★ よろこんで はたらこう ★

- 本当に弱い立場に置かれた人は、自分は弱いなんて言わない。
イッピーに集うメンバーの働く姿に教えられる。
- もちろん、できないこと、苦手なこと、困りごともあるけれど、
どんなに不器用でも、一生懸命やっていけば必ず用いられていく。
- よく働く人は、よい礼拝者とされていく。
御言葉をもって、働きをもって、遣わされ、主を証していこう。

家庭で、仕事場で、教会で、よろこんで はたらこう!!

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

わたし ひとりひとり しゅ はたら め
私たち一人一人が、主にある働きのために召されています。

かてい しごとば きょうかい よろこ はたら もの
家庭で仕事場で、教会で、喜んで働く者としてください。

しゅ れいはい しゅくふく み
主にささげる礼拝が、ますます祝福に満ちたものとなりますように。

みことば した もと しょうにん つか
御言葉を慕い求めます。キリストの証人として遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」